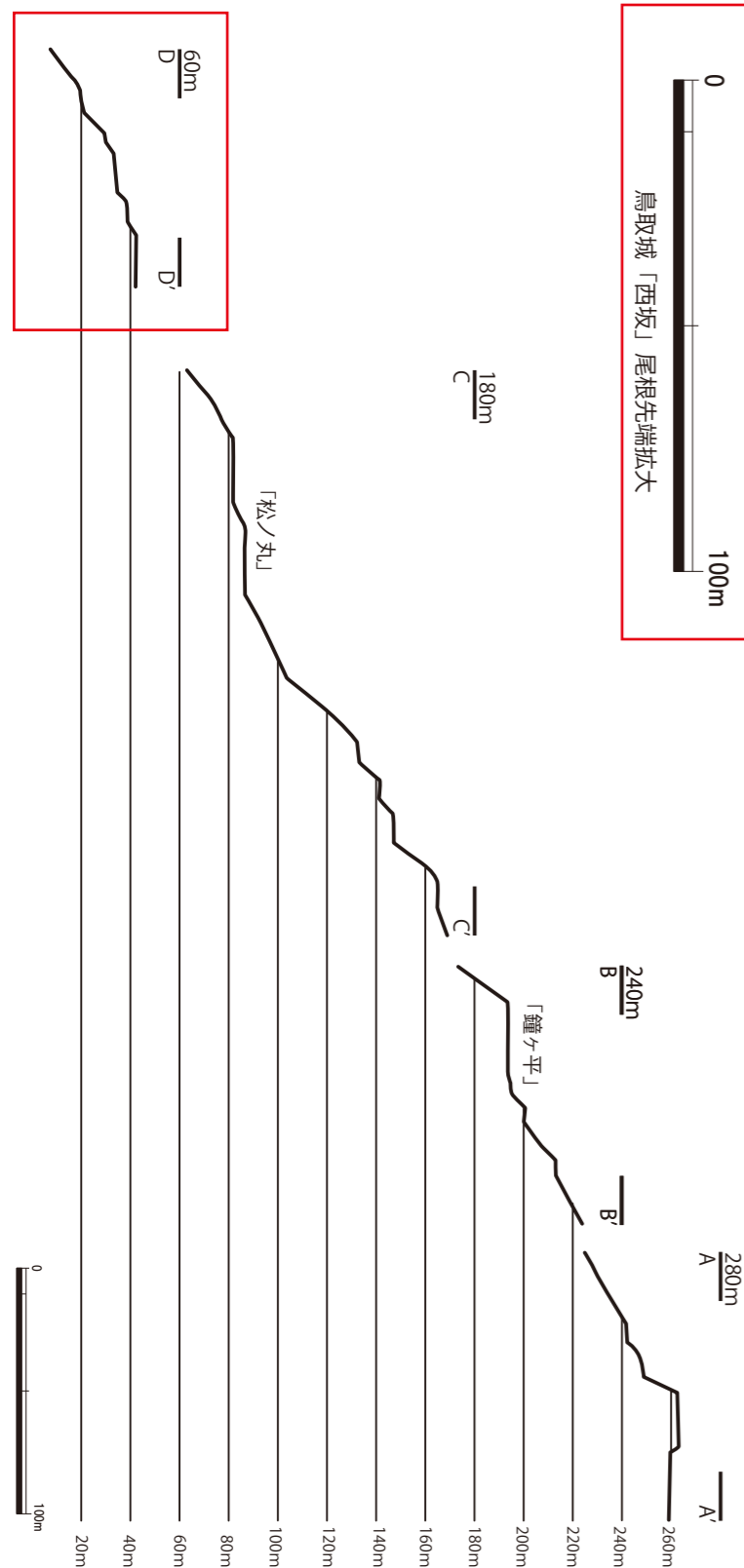


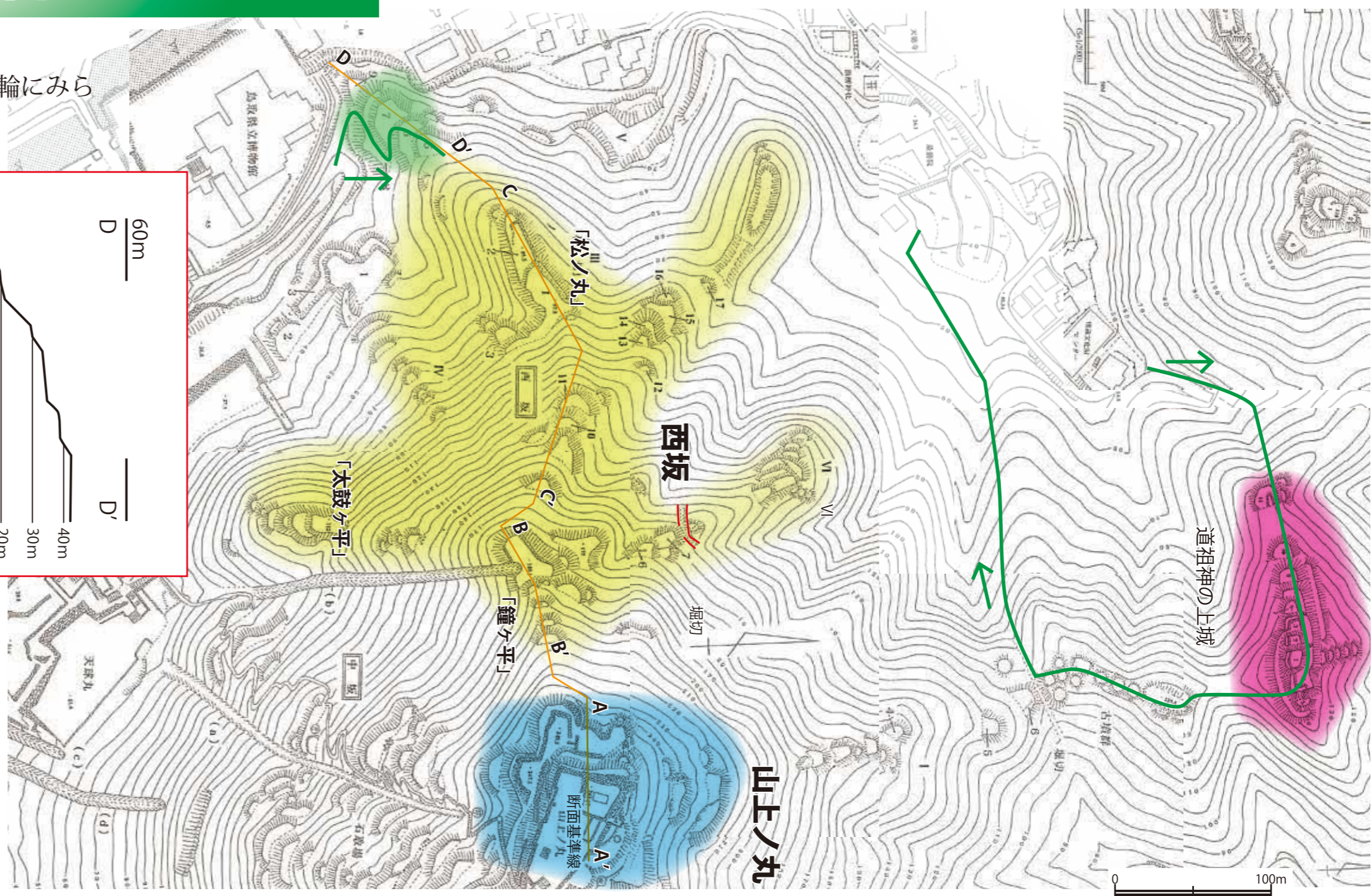
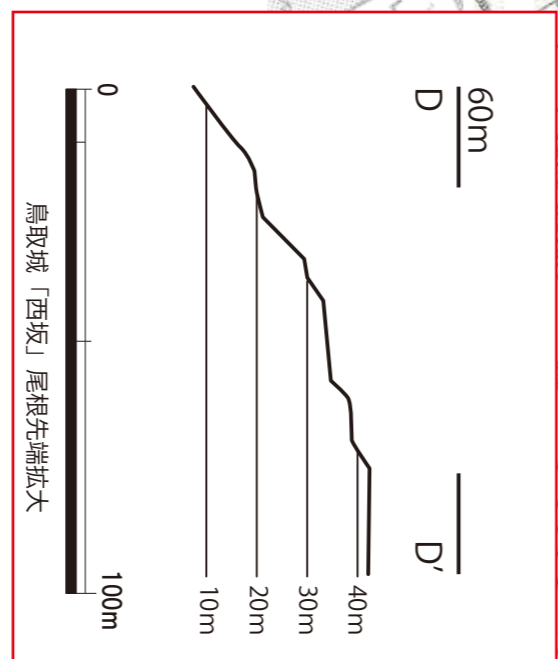
# 鳥取城関連ウォーク資料

## 鳥取城「西坂道」周辺

戦国時代の主曲輪は山上部と、西坂周辺の諸曲輪にみられます。西坂は当時の大手ともいわれています。



鳥取城「西坂」周辺の断面



鳥取城周辺縄張図

鳥取市教育委員会 2009『鳥取城調査研究年報 第2号』から引用、一部改変

### 【山上ノ丸】

山上ノ丸は切岸で防御された頂部の曲輪が階段状に、また放射状に広がる尾根筋にそって曲輪が整備されています。石垣を伴う部分は宮部氏、池田氏によって整備されたと考えられます。

### 【西坂部】

山上ノ丸から西側に伸びる尾根筋を中心とする階段状の曲輪や部分的に施された石積みは武田氏による整備のものと考えられます。「鐘ヶ平」、「松ノ丸」、「太鼓ヶ平」と呼称される曲輪群や石垣は宮部氏による拡張や整備と考えられます。

## 湯所合戦（1563（永禄6）年4月）『因幡民談記』から

布施に謀反した武田高信<sup>Ⓐ</sup>の鳥取城を攻め落とそうと徳吉、秋里を先駆、中村伊豆守を大将とし、天満<sup>Ⓒ</sup>を出て、秋里大星の橋を渡り、湯所<sup>Ⓓ</sup>へ寄せた。

鳥取城側は城から下り、湯所<sup>Ⓓ</sup>にて待ち受け合戦を始め、しばらく勝負がつかなかったので、中村伊豆守が先に立って、城内に攻め入ろうとしたところ、鉄砲<sup>Ⓔ</sup>を隙間なく打たれ、胸板を討ちぬかれて、馬より落ちて亡くなった。

城側は是に力を得て攻めかかったので、寄せ手は追い立てられて布施の城へ帰った。

### 註

Ⓐ因幡山名家を退け布施天神山を奪取していた但馬山名傍系の山名豊数に、因幡守護家の被官であった武田高信が反旗。同年12月に武田軍の攻撃で天神山城が落城し、豊数らは鹿野へ退去。

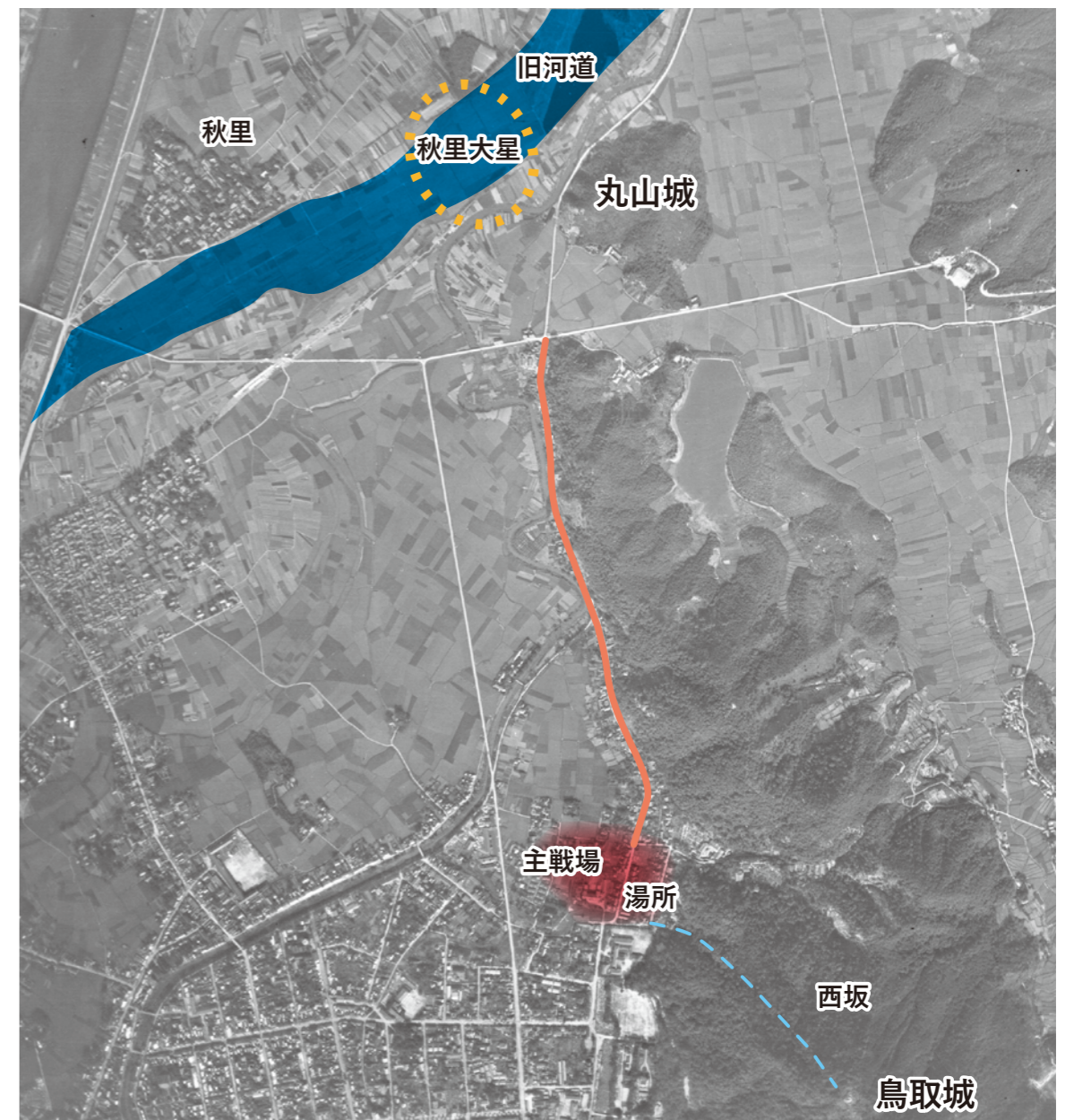
Ⓑ中村伊豆守も同被官。

Ⓒ天神山城の大手。

Ⓓ布施勢の進軍経路、秋里大星（陸運事務所辺りの橋）、丸山旧道、湯所。

Ⓔ当時の大手か

Ⓕ1564（永禄7）9月毛利元就が気高宮吉城に鉄砲と鉄砲隊を派遣したことが古文書に見える。



1947（昭和22）年の鳥取市街地  
出展：国土地理院ウェブサイト、一部作図



松ノ丸（先端の石積）



西坂の曲輪

この先  
鶴尾城 ←

天神山城 ↓



鳥取城山上ノ丸から西側を望む

お問い合わせ

鳥取県埋蔵文化財センター

〒680-0151 鳥取市国府町宮下1260番地

TEL 0857-27-6711

FAX 0857-27-6712

ホームページ <https://www.pref.tottori.lg.jp/maibun>

メールアドレス [maibuncenter@pref.tottori.lg.jp](mailto:maibuncenter@pref.tottori.lg.jp)

